



地域の絆でつくる笑顔あふれる安心の故郷づくり

特定非営利活動法人ほほえみの郷トイトイ
事務局長 高田新一郎

高田 新一郎

Shinichirou Takata

特定非営利活動法人ほほえみの郷トイトイ
副理事長兼事務局長



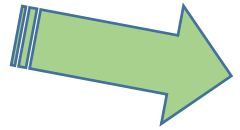
2012年 山口県山口市阿東地福地域において
「地域の絆でつくる笑顔あふれる安心の故郷づくり」をキャッチフレーズにした
地域の将来構想「地福ほほえみの郷構想」を提案
地域拠点ほほえみの郷トイトイを核にした、住民主体の課題解決のしくみづくりをスタート
地域ニーズをもとにした課題解決のための事業構築に取り組みソーシャルビジネスとして確立す
ることで持続可能な地域運営を目指している。
2022年度より、地域の持続可能性を高めるための新たな取り組みとして、地域のリ・デザインプ
ロジェクトをスタート、新たなチャレンジを始めている。

阿東地域の現状（沿革・概要）

山口市



阿東地域



山口市阿東地域とは？

山口市の北東部に位置する阿東地福地域は平均標高300m前後の地域で夏場は涼しく、冬場は積雪のある山間部に位置している。

阿東地域の人口は約5000名、世帯数は約2600世帯であり高齢化率は59%で少子高齢化や人口減少が進んでいる。



きっかけ

地域内唯一のスーパーの閉店

地域の状況 ⇒ 不安、不満

地域住民の状況 ⇒ あきらめ、ネガティブ

課題の抽出

買い物が出来ない。

人と出会う機会の減少

地域内情報の途絶

将来への不安

地域課題の解決は**目的**ではなく

地域の将来ビジョン実現のための
手段である。

地域のビジョンを描くことから
始める。

地域の将来ビジョン（目指すべき姿）

「誰もが笑顔で安心して暮らし続けることの出来る故郷」

地域のよりどころとなる拠点をつくることで、地域ニーズや不安など地域の声を丁寧に聴くしくみの構築

地域拠点を核として、地域住民が主体となり課題解決に取り組むための事業構築

地域の誇りと自信を取り戻す。

地福ほほえみの郷構想

キャッチフレーズ

「地域の絆でつくる、笑顔あふれる安心の故郷づくり」

地域のよりどころとなる拠点を整備し、3年先5年先10年先・・・の将来にわたって、地福が安心して生活でき、誇れる地域づくりを目標とする。

高齢者の方々が抱える不安も、団塊の世代の方々が抱える不安も、子育て世代が抱える不安も、ともに地域で共有し知恵を出し支えあいながら、協働により解決していくことで、笑顔で安心して暮らせる地域づくりを目指す。

地域の将来ビジョンの明確化・共有

課題解決へのみちすじ

課題の解像度を上げる

目的を明確にする

手段を選ぶ

戦略的に進める

平成23年11月 地福ほほえみの郷構想提案
平成24年1月～2月 地区内21自治会にて説明会を実施
開設支援金の呼びかけ
平成24年3月31日 ほほえみの郷トイトイレオープン

- ・ 地域の未来は地域主体で描き責任を持つ
- ・ 地域主体で覚悟を決めて一歩踏み出す

《合意形成ではなく共感によるつながり》



地域内外の様々なステークホルダーが、自分の立場・領域を超えて、地域の未来の実現に向け協働する。

《地域経営のプラットフォーム構築》

住み慣れた地域で暮らし続けることのできるコミュニティづくり



生活機能の確保
コミュニティの形成



地域モビリティの
構築



食の確保
活躍の場の提供



野菜の集荷



地域の持続可能性を高める

健康に年を重ねる介護予防



子どもたちの体験





2013.3
移動販売スタート



2013.5
トイトイ工房スタート

2012.4
地域交流拠点として再生
・ミニスーパー機能
・交流スペース
・野菜の出荷の仕組み

2010 スーパー撤退

2013~2014
高齢者向けタブレット講座

2017~2018
空き家活用プロジェクト

地域イベントへの協力・子供たちの体験など



2016~
介護予防事業
元気いきいき広場開設



2018~
地域食堂



2021~
ワーケーション実証



2019~
移動販売車2台に



2019~
地域モビリティ検討

2021~
企業との連携による
地域課題解決



不安を**安心**に変える。

地域に**笑顔**を増やす。

ノウハウ × マインド

どんなやり方で

どんな気持ちで

社会課題の解決

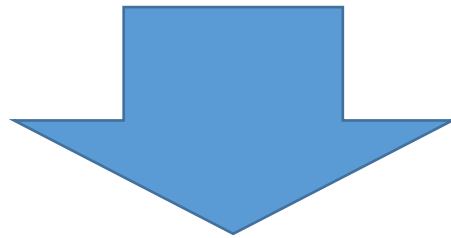
収益化・持続化

**地域の持続可能性を維持するため
ソーシャルビジネスとして展開**

**社会課題の解決を最大の目的とし
事業収益により継続的な社会支援を行う。**

**小さな市場・非効率でも成立する
共感と思いやりのビジネスモデル**

地域での活動（地域づくり）の中に、誰もが幸せになるストーリーを描くことで、共感の輪を広げる。



**地域の人々の声を丁寧に聴くことで、
潜在ニーズを顕在化し地域のマネジメントを実現する。**

循環型の地域経営・共生社会の実現



課題解決のバロメーターは笑顔と安心





障がい者の方との地域活動支援センターでの活動



トレーラーハウスを活用したコミュニティの場づくり



集落に出向いたコミュニティの場づくり



地域外のイベント出店による地域のPR

地域おこし協力隊受入の中間支援団体として、隊員と地域をつなぐ取り組み

**お互いの価値観を尊重することで
同調ではなく共感へ**

地域づくりを通じて社会を良くする。

不安を希望に変える。

未来は変えられると信じる。

ふるさとを次の世代へつなぐ

まちづくりの主体は誰か？

地域をマネジメントする意味

《幸せの価値観を共有する》



ほほえみの郷トイトイは、地域拠点を核にした持続可能な地域運営を進めるため、地域をチームとしてとらえ、将来ビジョン(地域の未来)を主体的に描き明確にすることで、地域住民一人一人が輝くための地域マネジメントを実践しています。

子供から高齢者まで、地域のあらゆる世代が地域で輝き、人と人をつなぐことで地域の未来をプロデュースしていくこと目指して取り組みを進めていきます。





ほほえみの郷トイトイの思い

人口減少は止めることはできないかもしれない
だけど、地域に**笑顔**を増やすことは出来る。

地域を**未来**へつなぐために・・・



ご清聴ありがとうございました。

